

1
佐藤先生、こんにちは

1年間の支援を受け、この度卒業させていただく事となりました
1年前の今頃は、こんなに楽しい毎日が送れるとは思ってもみませんでした

息子が小2のGW明けの朝「乱暴な子と同じ班活動がイヤだから
学校へ行きたくない」と言うきました。私は担任の先生に電話をし
違う班にしてもらうと登校しました。それから3週間後
「乱暴な子に、いきなり蹴られた」と泣いて登校もイヤになりました
担任の先生に聞くと、息子だけに乱暴な訳ではなく、他の子にも
乱暴だという事でした。今思えば、この事は行き装いの「きっかけ」
にすぎず原因は違う所にありました。

その証拠に、給食がイヤ、運動会の踊りがイヤ、プールがイヤ
と行き装う理由が次から次へと出てきました。

毎朝そのしつさに対応し納得し、ようやく登校する時間か

1時間目、2時間目、3時間目と、どんどん遅くなりました。

行ってしまえば楽しく過ごしてるとの事でした。そんな時

担任の先生のススメもあり、母子登校が始まりました。

すると1時間目から行ける様になり、このまま順調にいけば

1人で行ける様になるかとも思いました。ですが、1週間後、胃腸炎で

休むと、休み明けからの行き渋りは以前よりひどくなりました。

スクールカウンセラーに相談するも「母子登校は時期が来ればなくなる

ので、それまで待ちましょう」と。母子登校でも朝から行っていけば

待つたかもしねませんが日に日に行く時間は遅くなり、7月は

5時間目からの日が多くなりました。今までの対応に限界を感じ

ネットで検索するとペアレンツキャンプを見つけ、水野先生の本も読みました。

過干渉、先回り、失敗を経験させてこなかった、命令・指示・提案

全て良かれと思っしてきた事が歳相応の自立ができていない子

に育て、行き渋りの原因だったのです。本の内容はストンと心にアリました。

なので、読み終わる頃には支援も、お願いしようと思ってきました

まずは家庭教育支援コースで支援を受け、^夏休み明けの様子次第で、問題解決支援コースに切り換えるという事になりました。2学期の始業式の日「行きたくない」と休みました。欠性対応で行く様に話しても次の日も行けませんでした。そこから不登校に……息子は行き渋りだしてからキレやすくなり、姉弟ケンカが絶えず叩いたり、止め^に入った母や父にまでも叩く、つねる、蹴ると乱暴になりました。支援前は息子に悲しんでいる姿は見せないで明るく振る舞おうとしていましたが、佐藤先生から「親の気丈さは子供には伝わりません。悲しい時には悲しい顔で」と言われ、私は悲しみの対応に……すると乱暴だった息子が落ち着いてきました。それから訪問カウンセラーの先生方に来ていただき、教育コーチングも受けさせていただきました。

訪問カウンセラーの先生方は息子も、佐藤先生は

私と主人も、精神的に支えてくださったおかげで

11月15日に復学する事ができました。あの日の感動は一生

忘れる事はないと思います。本当にありがとうございます。

息子は毎日元気いっぱい「行、てきます!」と登校します。

息子が行き渋る前から、私の心の中で「私の子育ては

何か違う、悪い方向へ向かっている」という思いがありました。

でも「何か」いけないのかには気づけませんでした。

それは息子が行き渋り、不登校する事でSOSを出し

そのおかげでペアレンツキャンプと出会え、家庭教育理論を

学ぶ事ができ「何か」いけないのか教えていただき気づかせて

もらいました。そして、気づくだけでなく実践し、自分を

変える事は、とてもたいへんでしたが、自分が変われば

それ以上に子供が変わっていき、向題行動もなくなり
素直になり、1年前とは比べものにならないぐらいの
成長も見せてくれました。

これからも子供たちの成長に負けない様に私と主人も
一緒に成長していきたいと思えます。

そして進むべき道を示していただいたので
前へ突き進んでいきます。